

令和7年度第1回一橋大学機関リポジトリ運営会議議事要旨

日 時：令和7年6月18日(水)15時00分～16時00分

場 所：オンライン会議

出席者：野口(統括責任者)、加納、中野、中山、安藤、田中、末永、藤井 各委員

欠席者：坂野、佐藤、只野 各委員

事務局：学術情報課(大田垣、山中、石山、山下、小林)

I. 報告事項:

報告に先立ち、委員の自己紹介があった。

1. 令和6年度第2回一橋大学機関リポジトリ議事要旨

資料1に基づき確認を行った。

2. 令和6度機関リポジトリ事業実施報告

資料3に基づき報告があった。また下記のとおり意見交換があった。

- WP・DPの登録数について、実際に発行されているタイトル数よりも少ない印象を受ける。
- ・ 学内に協力を仰ぎながら、網羅的な登録に努めたい。

3. 本学機関リポジトリ関連の各種統計について

資料4に基づき報告があった。

4. 博士論文の本学機関リポジトリ登録状況について

資料5に基づき報告があった。また下記のとおり質疑応答があった。

- 直近の本文・要約捕捉率が低い。対策をとる必要があるのではないかと。
 - ・ 年に2回、学術情報課から研究科に、本文・要約未公開者のリストを送付し、督促している。また例年7月の大学院教育専門委員会に報告をしている。
- 研究科は全文も要旨も持っているので、例えば本人から特別の申し出がない限り要旨を公開する、ということはないか。
 - ・ 「要旨」と「要約」は別物で、「要約」は博士号取得者が全文の代わりに新たに作成するものになる。
- 「要旨」を「要約」として公開することはできないのか。
 - ・ 文科省令の学位規則で「要旨」と「要約」はそれぞれ公開することが定められている。

II. 審議事項:

1. 令和6年度一橋大学機関リポジトリ事業決算(案)

資料6に基づき報告があり、原案どおり承認された。

2. 令和7年度一橋大学機関リポジトリ事業計画(案)

資料7に基づき報告があり、原案どおり承認された。

3. 令和7年度一橋大学機関リポジトリ事業予算(案)

資料8に基づき報告があり、原案どおり承認された。

4. 機関リポジトリシステム移行にかかる周知について

資料9—1および9—2に基づき報告があった。また下記のとおり質疑応答があった。

- 教授会で機関リポジトリ運営委員が説明する必要があるか。
 - ・ 報告資料として提出する予定なので、説明は不要である。
- 個々の研究者が URL のリンク変更を行うということか。
 - ・ 個人のウェブサイトなどを持っている場合には、研究者自身で変更する必要があるが、紀要や WP・DP のウェブサイトであれば、管理者が変更することになる。
- 旧 URL を自動的にハンドルや DOI にリンクするようにすることはできないのか。
 - ・ 現在検討している方法は、旧リポジトリのトップページあるいは個々のメタデータ詳細画面から新リポジトリのトップページへのリダイレクトである。旧システムの URL を自動的にハンドルや DOI にリダイレクトさせることは難しい。

※後日改めて機関リポジトリ事務担当(電子情報係)内で検討した結果、技術的・予算的・時間的な面でも難しいことを確認した。

審議の結果、原案どおり承認された。

III. その他

なし

以上